

スケール、発想、  
生きざま、すべて規格外！  
RYUSHI、来たる！

生誕135年記念 川端龍子展

2020 7/23 (木・祝) → 9/22 (火・祝)

※会期中、一部展示替えあり

開館時間=9:30 ~ 17:30 (最終入館17:00)

休館日=毎週月曜日(但し8月10日、9月21日は開館、8月11日は振替休館)

入館料=一般1,300円 中・高校生700円 小学生400円

※小・中学校が授業の一環として利用する場合は無料

※小・中学生は毎週土曜日無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付添1名は半額(要手帳提示)

※お着物でご来館の方は半額

前売券=一般1,100円

水野美術館(7月12日まで) / セブン-イレブン(7月22日まで)

主催=水野美術館、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送

後援=長野県、長野県教育委員会、長野市、長野市教育委員会

特別協力=大田区立龍子記念館

企画協力=アートワン

公益財団法人

水野美術館

〒380-0928 長野市若里6-2-20

Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311

<https://www.mizuno-museum.jp>

川端

RYUSHI  
KAWABATA

龍子

《龍巻》1933年 大田区立龍子記念館



《爆弾散華》1945年 大田区立龍子記念館



# 生誕135年記念 川端龍子展

「昭和の狩野永徳」と評され、横山大観・川合玉堂とともに「近代日本画の3巨匠」の一人に数えられる日本画家・川端龍子（1885～1966）。

龍子は、和歌山市に生まれ、上京して若手の洋画家・挿絵画家として活動をはじめます。しかし、単身渡米した現地で日本の古典美術にふれたことを機に、日本画へ転向。1915年、30歳で再興日本美術院展への画壇デビューを果たし、新進気鋭のホープとして将来を嘱望されました。

一方、龍子のあまりに大胆で豪放な表現は、当時の院展内で軋轢を生み、日本美術院を脱退。翌1929年、「健剛なる芸術」を

目指した日本画の在野団体「青龍社」を自ら旗上げします。そして、今では当たり前となった、大衆へ向けた展覧会のためだけに制作するスタイルを「会場芸術」と名付け、それまでの日本画にはなかった破格の超大型作品を次々と発表し、センセーションを巻き起こしました。

川端龍子の生誕135年を記念した本展では、大田区立龍子記念館による全面協力のもと、50年以上にわたった龍子の画業全体を回顧します。龍子が80歳でこの世を去る直前まで、まさに時代のインフルエンサー（影響者）としてダイナミックに活躍し続けたその姿をどうぞご覧ください。

## 圧巻のスケール！ 衝撃の発想！ 比類なき生き様！



《草の実》1931年 大田区立龍子記念館



《南飛図》1931年 和歌山市立博物館



《香炉峰》部分 1939年 大田区立龍子記念館

### バスを利用の場合

交通のご案内

JR長野駅下車、東口から長電バス「日赤・水野美術館行き」乗車約10分「水野美術館」下車

### 車を利用の場合 [無料駐車80台]

上信越自動車道「長野インター」から約15分

facebook 随時更新中!

YouTube 始めました!

龍子展を2倍楽しめる、  
学芸員の解説動画を随時配信中!  
是非チャンネルをご登録下さい!



### 次回展

水野コレクション  
巨匠のワザ、ここにあり  
一雅邦、観山、松園、清方  
会期:2020年10月3日(土)～12月6日(日)

ZENKOJIDAIWA ART LINE  
善光寺平アートライン

公益財団法人  
水野美術館

〒380-0928 長野市若里 6-2-20  
Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311  
https://www.mizuno-museum.jp

入館料  
割引券

100円引

※会期中1枚につき1名様のみ有効  
※他の割引サービスとの併用不可